

新刊抄

◆アクティブラーニングで学ぶ震災・復興学

庄司美樹、新里泰孝、橋本勝編著

東日本大震災は地震や津波のほかに、福島第一原発事故の発生という世界でも類を見ない深刻な状況を生み出した。本書は、富山大学の教員の発案で二〇一一年（平成二十三年）年から始まった震災・復興学の授業を基に、被災地の現状や課題をまとめたテキスト。各章に「問い」を設けるなど、能動的な学習を促す「アクティブラーニング」を取り入れた。

大震災と復興を、知識として学



ぶのではなく、いかに自分の問題として考えるか。本書がその端緒となる。

（六花出版・一六五〇円）

◆もつ、聞こえない

善田哲也著

「ストロベリーナイト」シリーズなどで知られる人気作家の最新長編。

警視庁捜査一課の武脇は、傷害致死容疑で逮捕された女性の取り調べを命じられる。少し前からある「声」が聞こえるんです…。そんな被疑者の告白によって、物語は思わぬ方向へ進む。

（幻冬舎・一七六〇円）

◆心淋し川

西條奈加著

江戸の片隅でちりあくたをため込み、止まったまま流れることのない「心淋（うらさび）し川」。さまざまな理由を抱え、その川のほとりに住み着いた人々の人生模様をつづる表題作など六編。

（集英社・一七六〇円）